

# 千葉市花見川区花島コミュニティセンター指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 平成28年4月1日～ 令和2年3月31日)

## 1 基本情報

施設名称	千葉市花見川区花島コミュニティセンター
条例上の設置目的	千葉市コミュニティセンター設置管理条例 (設置) 第1条 本市は、市民のコミュニティ活動のための施設として、次のとおりコミュニティセンターを設置する。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	コミュニティ活動を促進し、市民の連帯感を醸成することで、市民主体の住みよいまちづくりを推進すること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ活動の場を低廉な料金で安定的に供給すること。</li> <li>・地域の特性を踏まえ、コミュニティ活動の契機となる事業を企画・実施すること。</li> <li>・コミュニティ活動を行う上で必要とされる情報発信の場となること。</li> </ul>
制度導入により見込まれる効果	本施設では、指定管理者制度導入により、多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間のノウハウを活用しつつ、本施設の提供する「市民サービスの充実」による利用者満足度の向上、利用促進、広報プロモーション活動による利用者の増加、スポーツ教室・イベントの開催によるスポーツ振興の促進、地域コミュニティの形成、「管理経費の縮減」による財政負担の軽減等の効果を期待している。
指定管理者名	スポーツクラブNAS株式会社
構成団体 (共同事業体の場合)	
指定期間	平成28年(2016年)4月1日～令和3年(2021年)3月31日(5年)
所管課	千葉市花見川区役所地域振興課

## 2 成果指標等の推移

### (1) 施設稼働率(諸室)

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	平均
実績値	31.6%	32.0%	30.5%	31.7%	31.5%
数値目標※	32.0% (35.8%)	33.0% (35.8%)	34.0% (35.8%)	35.0% (35.8%)	33.5% (35.8%)
達成率	98.8% (88.3%)	97.0% (89.4%)	89.7% (85.2%)	90.6% (88.5%)	94.0% (87.8%)

### (2) 成果指標以外の利用状況を示す指標

指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	平均
各種教室・講座の開催	42教室	39教室	44教室	108教室	58教室
施設利用者数	76,375人	85,793人	73,488人	88,436人	81,023人

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

### 3 収支状況の推移

(単位：千円)

			H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	合計	
必須業務	収入	指定管理料	実績	21,153	20,744	20,733	20,904	83,534
			計画	21,153	20,744	20,733	20,857	83,487
			提案	21,153	20,911	20,895	20,962	83,921
		利用料金	実績	4,864	4,832	3,826	4,395	17,917
			計画	4,988	5,088	5,189	5,317	20,582
		その他	実績	0	0	0	120	120
	計画		0	0	0	0	0	
	合計	実績	26,017	25,576	24,559	25,419	101,571	
		計画	26,141	25,832	25,922	26,174	104,069	
	支出	実績	22,698	24,832	21,904	22,188	91,622	
計画		26,141	25,832	25,922	26,175	104,070		
収支	実績	3,319	744	2,655	3,231	9,949		
自主事業	収入	実績	736	801	967	856	3,360	
		計画	2,600	2,680	2,760	2,840	10,880	
	支出	実績	858	1,165	901	1,310	4,234	
		計画	2,242	2,286	2,356	2,449	9,333	
	収支	実績	△ 122	△ 364	66	△ 454	△ 874	
総収入	実績	26,753	26,377	25,526	26,275	104,931		
総支出	実績	23,556	25,997	22,805	23,498	95,856		
総収支	実績	3,197	380	2,721	2,777	9,075		
利益の還元額	実績	なし	なし	なし	なし			
利益還元の内容		市が示す利益還元のほかに自主事業の利益が黒字化した場合には、自主事業利益より、施設利用に係る備品を購入し、千葉市に寄贈する。	市が示す利益還元のほかに自主事業の利益が黒字化した場合には、自主事業利益より、施設利用に係る備品を購入し、千葉市に寄贈する。	市が示す利益還元のほかに自主事業の利益が黒字化した場合には、自主事業利益より、施設利用に係る備品を購入し、千葉市に寄贈する。	市が示す利益還元のほかに自主事業の利益が黒字化した場合には、自主事業利益より、施設利用に係る備品を購入し、千葉市に寄贈する。			

#### 4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	C	・評価期間を通して、市設定の目標数値の80%台後半で推移しており、平均達成率は87.8%。
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	・市の指定管理料支出は、評価期間通算では実績額が提案額を下回った（△387千円、△0.5%）。
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	・提案を上回る3回の第三者モニタリングを実施。 ・R元年の台風19号接近に備え避難所を開設。避難所としての役割も果たした。
4 施設管理能力		
（1）人的組織体制の充実	C	・事業計画どおり、毎年多様な研修を開催し、従業員の能力向上を図っている。 ・有資格者の設置や人員配置は適正である。
（2）施設の維持管理業務	C	・クラウドシステムを活用した一括保守管理を実施し、迅速な修繕対応・報告、点検・保守業務等の管理徹底を実現している。
5 施設の効用の発揮		
（1）幅広い施設利用の確保	C	・複合施設としての強みを生かした施策を展開。各施設の相互利用の提案を行い、稼働率の向上を図った。
（2）利用者サービスの充実	B	・利用者と積極的に関わり、メンバー募集やサークル化の支援を行っている。 ・サークルの活動成果披露の場を年々拡大して提供。 ・自主事業ノルディックウォーキングのみであるが、撮影した写真を使用しオリジナルのPRビデオを作成。活動内容を分かりやすく紹介している。
（3）施設における事業の実施	C	・コミュニティまつり来場者は、年々増加している。 ・ホールの吊り天井工事、多目的室改修工事、選挙の期日前投票会場としての利用等により、中止となる自主事業もあった。
6 その他 （市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮）	C	・修繕や再委託先は市内業者を優先している。 ・前指定管理期間からの継続雇用も多く、雇用は安定。

総合評価	C
------	---

#### 【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
- D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
- E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

## 5 総合評価を踏まえた検討

### (1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

### (上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・稼働率は、市設定の目標数値の80%台で推移しており目標を達成していないが、ホールの吊り天井工事、多目的室改修工事、選挙の期日前投票会場、新型コロナウイルスの影響等、外的要因により数値が伸びなかった側面もある。</li> <li>・総収支は評価対象期間を通して黒字である。都市公園施設と一括した再委託により経費削減を図ったことが、支出の抑制に寄与している。</li> <li>・自主事業が黒字化したことにより、指定管理者より施設利用に係る備品の寄贈があった。</li> <li>・指定管理者の特徴であるスポーツ系事業を中心に自主事業を開催。また、複合施設としての強みを生かし、相互に施設を利用する事業を実施した。</li> <li>・各種教室・講座の開催数は、R元年度を除き低調であった。</li> </ul>
--

### (2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

特になし
------

### (3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

### (4) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風や大雨等の悪天候や、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少はあったものの、利用者数や講座開設数は順調に増加しており、当初の見込みを上回る効果が達成できたことから、指定管理者制度の継続が望ましいと判断される。</li> <li>・引き続き施設の清潔の保持に努め、公共交通機関での来場者に合わせた開催時間の教室を開催する等、更なる利用者数の増加に努められたい。</li> <li>・教室の開催回数だけでなく、複合施設としての強みや、施設の一括管理のメリットを生かした魅力ある内容の教室の開催に努められたい。</li> </ul>
--